

2024年 2年社会科 年間指導計画案

学期	月	時限	単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点			評価の見取り	キャリア教育 4つの視点	
							主	思	知			
1 学 期	4 月	1	授業開き(オリエンテーション)		・社会科授業について ・授業の進め方について ・評価について							
		【地理的分野】 第3部 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色										
		2	1 山がちな日本の地形 ◎日本の国土には、どのような地形的な特色があるのだろうか。	日本の山地や造山帯の特色を理解する。	世界の火山の分布と日本列島の位置との関係に着目させる。	地図を活用して、世界の火山の分布を適切に読み取り、我が国が山がちな国土となっていることを理解している。 ②世界や日本の産地の分布を基にして、我が国の地形的な特色を多面的・多角的に考察させる。	○	○		ノート ワークシート		
		3	2 川がつくる地形と海岸や海洋の特色 ◎日本の平野や海岸、日本を取り巻く海には、どのような特色があるのだろうか。	日本の川と平野との関係や特色を理解する。	世界の川や平野の特色と比較し、その違いに気付かせる。	①資料から世界と日本の川や平野の違いを比較しながらそれぞれの特色を読み取り、日本の川や平野の地形的な特色を理解している。 ②日本の川や平野の特色を、世界の川や平野の特色と比較して多面的・多角的に考察している。			○	ノート ワークシート		
		4	3 日本の気候 ◎日本各地の気候を比較すると、地域によってどのような違いがあるのだろうか。	日本の気候の特色や地域による違いを理解する。	景観写真や雨温図から日本の気候が大きく六つに分けられることに気付かせる。	①雨温図から日本の六つの気候の違いを適切に読み取り、日本の六つの気候の特色を理解している。 ②太平洋側と日本海側で降水量の多い時期が異なる理由を、季節風や地形と関連付けて多面的・多角的に考察している。	○	○		ノート ワークシート		
		5	4 日本のさまざまな自然災害 ◎日本で発生する自然災害は、地形や気候とどのような関係があるのだろうか。	日本で発生する自然災害の特色を理解し、地形や気候など自然環境との関連や課題を考える。	これまで発生した自然災害の具体的な事例を活用させる。	①さまざまな資料から、日本の災害の分布を適切に読み取り、日本で発生する自然災害の特色や課題を理解している。 ②さまざまな自然災害が起こる理由を地形や気候など自然環境と関連付けて多面的・多角的に考察している。	○	○		ノート ワークシート	情報活用能力	
		6	5 自然災害に対する備え ◎国や地域は、自然災害を防いだり、被害を少なくしたりするために、どのような工夫をしているのだろうか。	日本で取り組まれている防災や減災の取り組みを理解し、自然災害に対する備えを考える。	具体的に行われている取り組みをもとに、これからの自然災害への備えを主体的に考えさせる。	①ハザードマップを活用し、自然災害の情報を適切に読み取り、日本で取り組まれている防災や減災の取り組みの特色を理解している。 ②日本で取り組まれている防災や減災の取り組みをもとに、自然災害に対する備えを多面的・多角的に考察している。			○	ノート ワークシート		
		7	6 日本の人口 ◎日本の人口分布や人口構成は、どのように変化してきたのだろうか。	日本の人口分布や年齢別人口構成の特色を理解し、人々の生活に及ぼす影響を考える。	人口ピラミッドの変化から日本が少子高齢社会になったことや人々の生活に及ぼす影響について考えさせる。	①分布図や人口ピラミッドを活用して、日本の人口分布や年齢別人口構成の特色を適切に読み取り、日本の人口分布や年齢別人口構成の特色や課題を理解している。 ②日本が少子高齢社会になったことが人々の生活に及ぼす影響について多面的・多角的に考察している。	○	○		ノート ワークシート レポート	人間関係形成 能力 将来設計能力	
		8	7 日本の資源・エネルギーと電力 ◎日本では、資源を有効に活用するために、どのような取り組みが行われているのだろうか。	日本における資源の有効活用や持続可能な社会の実現に向けてのエネルギー活用について考える。	東日本大震災での原子力発電所の事故以来、変化してきている日本の資源やエネルギーに関する考え方に着目させる。	①さまざまな資料から、東日本大震災での原子力発電所の事故以来、変化してきている日本の資源やエネルギーに関する考え方を適切に読み取り、日本の資源・エネルギーと電力の現状や課題を理解している。 ②日本における資源の有効活用や持続可能な社会の実現に向けてのエネルギー活用について多面的・多角的に考察している。	○	○		ノート ワークシート	情報活用能力	
		9	8 日本の農業・林業・漁業とその変化 ◎日本の農業・林業・漁業には、どのような特色や課題があるのだろうか。	日本の農業・林業・漁業の特色や課題、変化を理解する。	海外との競争や従事者の高齢化や後継者不足などが大きな課題となっていることに気付かせる。	①さまざまな資料から日本の農業地域の分布や各地方の農業生産の特色や課題を適切に読み取り日本の農業・林業・漁業の特色を理解している。 ②海外との競争や従事者の高齢化や後継者不足などの課題解決を多面的・多角的に考察している。	○	○		ノート ワークシート	情報活用能力	
		10	9 日本の工業とその変化 ◎日本の工業にはどのような特色があり、工場の立地はどのように変化してきたのだろうか。	日本の工業地域の分布や工業出荷額をもとに、日本の工業の特色と変化、課題を理解する。	日本の工場の立地が変化する理由や日本の企業が海外に進出する理由を考えさせる。	①工業出荷額の内訳を示す統計資料から日本のおもな工業地帯・工業地域の特色を適切に読み取り、日本の工業の変化や課題を理解している。 ②日本の工場の立地が変化する理由や日本の企業が海外に進出する理由を多面的・多角的に考察している。						
		11	10 日本の商業・サービス業 ◎日本の産業の中心である商業やサービス業には、どのような特色や変化がみられるのだろうか。	日本の商業・サービス業の現状と課題を理解する。	産業の高度化が進む中で、特に近年、サービス業の中でも情報通信技術(ICT)関連産業が急速に拡大していることに着目させる。	①さまざまな資料から、商業やサービス業での成長分野を適切に読み取り、日本の商業・サービス業の現状と課題を理解している。 ②テレビやインターネットを利用した無店舗販売や情報通信技術(ICT)関連産業が急速に拡大することによっておこる社会の変化や影響について多面的・多角的に考察している。						
12	11 日本の交通網・通信網 ◎交通網や通信網が発達したことで、日本と世界や国内の地域間の結びつきはどのように変化したのだろうか。	交通網や通信網が発達することによっておこった、世界や日本の地域間の結びつきの変化を理解する。	世界や日本の地域間の結びつきが強まったことによって利点や問題点に気付かせる。	①さまざまな資料から、交通網や通信網が発達することによっておこった、世界や日本の地域間の結びつきの変化を適切に読み取り、世界や日本の地域間の結びつきの変化や特色を理解している。 ②世界や日本の地域間の結びつきが強まったことによる利点や問題点をそれぞれ多面的・多角的に考察している。	○	○		ノート ワークシート				

学期	月	時限	単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点	評価の見取り	キャリア教育 4つの視点		
1 学期	5 月	13	12 さまざまな地域区分 ◎日本をいくつかの地域に区分する場合、どのような分け方ができるのだろうか。	日本を区分するさまざまな視点を 知り、さまざまな地域区分があるこ とを理解する。	形式地域による区分であるのか、実 質地域による区分であるのかに留意 しながら区分の仕方を理解させる。	①さまざまな地域区分を分類し、表などに整理し、さまざまな地域区分の 仕方や目的について理解している。 ②7地方区分以外の地域区分がある理由を、区分の目的や基準などから 多面的・多角的に考察している。	○	ノート ワークシート	将来設計能力		
		14	第1回単元テスト 「日本の地域的特色(地形・気候・自然災 害・人口)」 第2回単元テスト 「日本の地域的特色(資源・エネルギー・産 業、交通・通信)」		診断評価		○ ○	テスト			
		第3章 日本の諸地域									
		15	1 九州地方の自然環境 ◎九州地方では、地形や気候にどのような 特色がみられるのだろうか。	九州地方を概観し、自然や人々の 生活の特色を理解する。	現在も活動する火山が多く自然災害 が多いという地域の特色に注目させ る。	①地図や雨温図などから、自然環境を視点とした九州地方の特色を大ま かに読み取り、九州地方の都道府県や地形の位置と名称を理解してい る。 ②温暖な気候や火山が多い地形、アジアに近いという位置の特色から、九 州地方の人々の生活をまよやかに考察している。	○ ○	ノート ワークシート	情報活用能力		
		16	2 火山と共にある九州の人々の生活 ◎火山は人々の生活や産業にどのような 影響を与えているのだろうか。	火山の恵みと被害の両面を理解 し、その利点の生かし方や防災へ の取り組みを考える。	火山が多いという自然環境の中で恵 みと被害に直面する人々の生活のよ うすとらえさせる。	①さまざまな資料から九州地方における火山の恵みや被害の実態につ いて適切に読み取り、九州地方の自然環境を生かした産業や、災害、防災 への取り組みなどを理解している。 ②火山のめぐみや被害の実態をもとに、九州地方の人々の生活向上につ いて多面的・多角的に考察している。	○ ○	ノート ワークシート	将来設計能力		
	17	3 自然を生かした九州地方の農業 ◎火山活動の影響を受けた土地や温暖な 気候を生かして、九州地方ではどのような 農業が行われているのだろうか。	温暖な気候や火山活動の影響を受 けた土地を生かした農業の実態を とらえ、その特色を理解する。	温暖な気候や火山灰地層という地域 的特色が特色ある農業を生み出し ていることに気づかせる。	①さまざまな資料から九州地方の自然環境と農業との関連について適切 に読み取り、九州南部の畜産やシラス台地での畑作、北部での稲作の実 態を理解している。 ②温暖な気候や火山との関連などの自然環境を生かした農業の特色につ いて、多面的・多角的に考察している。	○	ノート ワークシート	情報活用能力			
	18	4 都市や産業の発展と自然環境 ◎アジアの国々に近いということが、都市 や地域の産業の発展にどのような影響を 与えているのだろうか。	アジアに近いという特色を生かして 発展してきた都市や工業の歴史を とらえ、その特色を理解する。	アジアに近いという特色から福岡市や 北九州工業地帯の発展と役割につ いて考えさせる。	①地図やその他の資料からアジアに近いことで都市や工業が発達して きた実態を適切に読み取り、アジアに近いという立地から原料が調達し やすいことで発達した九州の工業について理解している。 ②アジアに近いという自然環境を生かした都市の発達や工業の特色につ いて、多面的・多角的に考察している。	○	ノート ワークシート	将来設計能力			
	19	5 南西諸島の自然環境と人々の生活や 産業 ◎南西諸島の自然環境は、人々の生活・ 文化や歴史、産業とどのように関わって いるのだろうか。 *学習を振り返ろう 九州地方	温暖な気候やアジアとの交流の歴 史などに着目しながら、特色のある 南西諸島での人々の暮らしにつ いて理解する。	南西諸島の独特の文化や生活を世界 やアジアにおける南西諸島の位置や 歴史に着目しながら考えさせる。	①さまざまな資料からアジアに近いという位置と独自の文化や生活の発展 との関連を適切に読み取り、アジアとの交流の歴史や軍事基地のある地 域での生活について理解している。 ②世界やアジアにおける南西諸島の位置や歴史が独特の文化や生活を つくりだしていることについて多面的・多角的に考察している。	○ ○	ノート ワークシート	意思決定能力			
	6 月	20	1 中国・四国地方の自然環境 ◎中国・四国地方では、地形や気候にどの ような特色がみられるのだろうか。	中国・四国地方を概観し、自然や 人々の生活の特色を理解する。	地域を山陰、瀬戸内、南四国の三つ に分けて、気候の特色と地域の特色 を関連付けてとらえさせる。	①雨温図を活用して、山陰、瀬戸内、南四国の気候の特色を適切に読み 取り、中国・四国地方の地形や気候の特色を理解している。 ②瀬戸内が温暖で降水量が少ない理由を地形の特色と関連付けて多 面的・多角的に考察している。	○ ○	ノート ワークシート	情報活用能力		
		21	2 交通網の整備と人々の生活の変化 ◎本州四国連絡橋や高速道路の開通は、 人々の生活をどのように変化させたのだ ろうか。	本州四国連絡橋や高速道路の整 備による地域の人々の生活の変化 について考える。	交通網の整備によって他地域と結び ついたことによる利点や問題点に気 付かせる。	①さまざまな資料を活用して交通網の整備によって他地域と結びつ いたことによる地域の変化を適切に読み取り、本州四国連絡橋や高速道路の 整備による地域の人々の生活の変化を理解している。 ②交通網の整備によって他地域と結びついたことによる利点や問題点を 多面的・多角的に考察している。	○	ノート ワークシート	情報活用能力		
22		3 瀬戸内海への海運と工業の発展 ◎瀬戸内海に面した地域では、船を使った 輸送を利用して、どのように工業を 発展させてきたのだろうか。	海上交通の利点を生かした瀬戸内 地域の工業の特色について考え る。	海外とつながることによる利点や課題 に気付かせる。	①さまざまな資料から、海上交通の利点を生かした瀬戸内地域の工業の 特色を適切に読み取り、海上交通の利点を生かした瀬戸内地域の工業の 特色を理解している。 ②海外とつながることによる瀬戸内地域の工業の利点や課題を多 面的・多角的に考察している。	○	ノート ワークシート				
23		4 交通網を生かして発展する農業 ◎瀬戸内や南四国で生産される農産物 は、どのようにして競争力を高め、市場 を広げてきたのだろうか。	他地域との結びつきを生かして全 国展開を進めている瀬戸内や南四 国の農業の特色について考える。	気候の特色を生かして特色ある農業 が営まれていることに気付かせる。	①さまざまな資料から、他地域との結びつきを生かして全国展開を進 めている瀬戸内や南四国の農業の実態を適切に読み取り、瀬戸内や南四 国の農業の特色を理解している。 ②海外や他地域との競争が激しくなる中で行われる地域の努力や工夫を 多面的・多角的に考察している。	○ ○	ノート ワークシート				

学期	月	時限	単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点		評価の見取り	キャリア教育 4つの視点			
1 学期	6 月	24	5 人々を呼び寄せる地域の取り組み ◎過疎化や高齢化が進むなかで、交通網が整備されたことにより、地域にどのような変化が生じたのだろうか。 *学習をふりかえろう 中国・四国地方	過疎化が進む山陰地域の、交通網の整備による変化について考える。	地域の持続発展に向けて、さまざまな努力がなされていることに気付かせる。	①さまざまな資料から山陰地域のさまざまな地域おこしの実態を適切に読み取り、山陰地域で行われている観光を中心とした取り組みを理解している。 ②過疎化が進む山陰地域の持続発展について、交通網の整備と観光業を中心に多面的・多角的に考察している。	○	○	ノート ワークシート	意思決定能力			
		25	第3回単元テスト 「九州地方」 第4回単元テスト 「中国・四国地方」		診断評価			○	○	テスト			
		26	1 近畿地方の自然環境 ◎近畿地方では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	近畿地方を概観し、自然環境や人々の生活の特色を理解する。	南北の山地に着目して地形や気候の特色をとらえさせる。	①地図や雨温図から近畿地方の地形や気候の特色を適切に読み取り、近畿地方の地形や気候の特色を理解している。 ②南部、中央部、北部の特色を地形や気候の特色と関連付けて多面的・多角的に考察している。			○	ノート ワークシート	情報活用能力		
		27	2 琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏 ◎京阪神大都市圏の水源である琵琶湖とその周辺では、環境保全のために、どのような取り組みが行われてきたのだろうか。	京阪神大都市圏の水源である琵琶湖の環境保全の重要性について考える。	琵琶湖から淀川を通して瀬戸内海に至る水運を生かして商業を発達させた大阪にも着目させる。	①さまざまな資料から琵琶湖の水質汚濁の状況や環境保全の取り組みなどを適切に読み取り、京阪神大都市圏の生活を支える水源としての琵琶湖の重要性について理解している。 ②琵琶湖の水質汚濁に対する原因や影響、対策などについて多面的・多角的に考察している。			○	○	ノート ワークシート		
		28	3 阪神工業地帯と環境問題への取り組み ◎阪神工業地帯では、工業の発展と共に生じた環境問題に対して、どのように取り組んできたのだろうか。	阪神工業地帯の現状や課題を追究し、環境保全の取り組みについて考える。	内陸部に中小企業が多いことにも着目させる。	①さまざまな資料から阪神工業地帯の現状や課題を適切に読み取り、阪神工業地帯の環境問題や環境保全の取り組みを理解している。 ②大企業や中小企業に関する環境保全みについての課題やその解決を多面的・多角的に考察している。				○	ノート ワークシート	情報活用能力	
		29	4 古都京都・奈良と歴史的景観の保全 ◎京都と奈良では、歴史的景観を保全していくために、どのような取り組みが行われているのだろうか。	京都や奈良の町なみの変化や歴史的景観を守る取り組みについて考える。	地域で生活する人々の利便性を守りながら歴史と伝統を守っていくという視点に着目させる。	①さまざまな景観写真から歴史的景観を守るための工夫や努力を適切に読み取り、京都や奈良の歴史的景観を守るさまざまな取り組みを理解している。 ②地域で生活する人々の利便性を守りながら歴史と伝統を守るとい地域の持続発展について多面的・多角的に考察している。			○	○	ノート ワークシート	人間関係形成能力	
		30	5 環境に配慮した林業と漁業 ◎近畿地方で行われている林業・漁業では、観光を保全するために、どのような取り組みを行っているのだろうか。 *学習をふりかえろう 近畿地方	近畿地方の林業や漁業の特色と環境保全の取り組みについて考える。	森林がもつ環境保全の役割に着目し、林業の大切さに気付かせる。	①さまざまな資料から林業や漁業がかかえる現状と課題を適切に読み取り、近畿地方の林業や漁業の特色と環境保全の取り組みを理解している。 ②林業や漁業と環境保全との関連や持続発展に向けての取り組みについて多面的・多角的に考察している。				○	ノート ワークシート	意思決定能力	
		31	1 中部地方の自然環境 ◎日本の中央部に位置する中部地方では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	中部地方を概観し、自然環境や人々の生活の特色を理解する。	地域を東海、中央高地、北陸に三つに分けて、気候の特色と地域の特色を関連付けてとらえさせる。	①雨温図を活用して、東海、中央高地、北陸の気候の特色を適切に読み取り、中部地方の地形や気候の特色を理解している。 ②東海、中央高地、北陸の生活のようすを地形や気候の特色や違いと関連づけて多面的・多角的に考察している。				○	ノート ワークシート	情報活用能力	
		32	2 中京工業地帯の発展と名古屋大都市圏 ◎名古屋を中心とする地域では、どのようにして自動車などの輸送機械工業が盛んになったのだろうか。	中京工業地帯や東海工業地域の特色をとらえ、輸送機械工業がさかんな理由を考える。	歴史的背景や大手企業の工場立地に着目させる。	①さまざまな資料から中京工業地帯や東海工業地域の特色を適切に読み取り、中京工業地帯や東海工業地域の特色を理解している。 ②歴史的背景や大手企業の立地に着目しながら東海で輸送機械工業がさかんな理由を多面的・多角的に考察している。				○	○	ノート ワークシート	
		33	3 東海で発達するさまざまな産業 ◎東海の産業は、自然環境や交通網などの条件を生かして、どのように発達してきたのだろうか。	都市向けの農業が発達した理由を考える。	気候や交通網の発達、大都市との位置関係などに着目させる。	①さまざまな資料から都市向けの農業が発達してきたことを適切に読み取り、抑制栽培や園芸農業について理解している。 ②気候や交通網の発達、大都市との位置関係などに着目しながら都市向けの農業が発達した理由を多面的・多角的に考察している。				○	○	ノート ワークシート	
		34	4 内陸にある中央高地の産業の移り変わり ◎内陸で山あいの環境にある中央高地では、時代の変化とともに、どのような産業が発展したのだろうか。	時代の変化とともに移り変わってきた中央高地の産業の実態をとらえる。	社会の変化や自然環境の特色と関連付けて考えさせる。	①さまざまな資料から中央高地の産業の変化を適切に読み取り、中央高地の産業の特色を理解している。 ②中央高地の産業の変化を、社会の変化や自然環境の特色と関連付けて多面的・多角的に考察している。				○	○	ノート ワークシート	

学期	月	時限	単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点		評価の見取り	キャリア教育 4つの視点	
1 学期	7 月	35	5 雪を生かした北陸の産業 ◎雪が多い北陸では、どのような産業が発達してきたのだろうか。 *学習をふりかえろう 中部地方	北陸で稲作や地場産業がさかんな理由を考える。	日本有数の豪雪地帯であるという特色に着目しながら地場産業の発達に気付かせる。	①さまざまな資料から北陸で稲作や地場産業がさかんな実態を適切に読み取り、豪雪と北陸の産業とのかかわりを理解している。 ②日本有数の豪雪地帯であるという特色に着目しながら、北陸で稲作や地場産業がさかんな理由を多面的・多角的に考察している。	○	○	ノート ワークシート	意思決定能力	
		36	第5回単元テスト 「近畿地方」 第6回単元テスト 「中部地方」		診断評価			○	○	テスト	
		37	1 関東地方の自然環境 ◎関東地方では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	地図や景観写真、雨温図などを活用して関東地方を概観し、自然環境や人々の生活の基本的な特色を理解する。	関東地方への人口集中の大きさに着目させる。内陸と沿岸とで違いがあることに気付かせる。	①地図や景観写真、雨温図などを活用して、関東地方の地形や気候の特色を調べ、まとめている。 ②内陸と沿岸とに分けて異なる地形や気候の特色について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。		○	ノート ワークシート	情報活用能力	
		38	2 多くの人々が集まる首都、東京 ◎首都であり、多くの人々が集まる東京には、どのような役割があるのだろうか。	さまざまな資料を活用して日本や世界における、東京の役割を考える。	東京は人口やさまざまな機能が集中し、日本だけでなく世界にも大きな影響を与えていることに気付かせる。	①首都であり、多くの人が集まる東京の特色を調べ、まとめている。 ②昼夜間人口の違いに着目し、特に東京の中心部が果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	ノート ワークシート		
		39	3 東京大都市圏の過密問題とその対策 ◎拡大する東京大都市圏では、どのような課題が生じてきたのだろうか。	人口が集中することによって発展した産業の特色を考えるとともに、サービス業や商業がさかんな理由を、人口や交通網とのかかわりから考える。	東京大都市圏の中心部と周辺部では、役割が大きく異なるとともに都市部ならではの課題も生じていることに気付かせる。	①東京大都市圏の拡大の特色や課題を調べ、まとめている。 ②人口が集中することで発生した都市問題とその解決について多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	ノート ワークシート	将来設計能力 意思決定能力	
		40	4 人口の集中と第3次産業の発展 ◎人口が集中する地域で発達する産業には、どのような特色があるのだろうか。	人口が集中することによって発展した産業の特色を考える。	人口集中と第3次産業の発達との関連に着目させる。	①人口が集中することによって発展した産業の特色や課題を調べ、まとめている。 ②人口が集中する地域で第3次産業がさかんになる理由や課題の解決を多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	ノート ワークシート	将来設計能力	
	8 月	41	5 臨海部から内陸部へ移りゆく工場 ◎京浜工業地帯や北関東工業地域の形成は、関東地方の人口の変化とどのように関係しているのだろうか。	関東地方の工業の発展や移り変わりを、人口の特色に着目して考える。	東京で出版・印刷業が多い理由を、人口集中と関連付けながら考えさせる。	①京浜工業地帯、京葉工業地域、北関東工業地域の特色を調べ、まとめている。 ②関東地方の工業の発展や移り変わりとその課題を人口の変化や市街地の拡大に着目しながら多面的・多角的に考察し、表現している。		○	ノート ワークシート		
		42	6 大都市周辺の農業と山間部の過疎問題 ◎東京大都市圏の周辺の農業地域や山間部は、人口の多い東京大都市圏と、どのように結びついているのだろうか。 *学習をふりかえろう 関東地方	大消費地と深く関連する関東地方の農業の特色や山間部での過疎問題について考える。	UターンやIターンなどの近年みられる新しい動向にも着目させる。	①近郊農業の発達や利点について調べ、まとめている。 ②UターンやIターンなどの近年みられる新しい動向に着目しながら、山間部で深刻化する過疎問題の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	ノート ワークシート	意思決定能力	
		43	1学期期末テスト・8月27日(予定)		診断評価			○	○		
		44	テスト解答	学習の振り返り 誤答レポート作成	定着の不十分な課題を補足する	(主)誤答レポートをまとめることができる。	○		誤答レポート	意思決定能力	
	9 月	45	1 東北地方の自然環境 ◎南北に長い東北地方では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	東北地方を概観し、自然環境や人々の生活の特色を理解する。	豪雪や厳しい寒さなど、厳しい自然環境の中で、人々が生活していることに気付かせる。	①地図や雨温図から東北地方の地形や気候の特色を適切に読み取り、東北地方の地形や気候の特色を理解している。 ②地形や気候などに着目し、東北地方の自然環境の特色を多面的・多角的に考察している。		○	ノート ワークシート	情報活用能力	
		46	2 伝統行事と生活・文化の変化 ◎東北地方の伝統的な祭りや人々の生活は、どのように変化してきたのだろうか。	祭りをはじめとする東北地方の伝統文化を生かした観光業の発展とこれらを考える。	観光業の発展が、これからの東北地方の発展や復興に大きく影響することに気付かせる。	①さまざまな資料から、農業と祭りや交通網と観光業とのかかわりを適切に読み取り、東北地方の祭りや観光業の特色について理解している。 ②観光業を活用した東北地方の発展や復興について多面的・多角的に考察している。	○	○	ノート ワークシート		
		47	3 稲作と畑作に対する人々の工夫や努力 ◎東北地方の人々は、冷涼な気候の下で農業を発展させるために、どのような工夫や努力を行ってきたのだろうか。	冷夏などの厳しい自然環境を克服し発展させてきた東北地方の稲作や畑作の努力について考える。	厳しい自然環境を克服するだけでなく、冷涼な気候を生かした農業の工夫についても着目させる。	①さまざまな資料から、東北地方の農業の特色を適切に読み取り、東北地方の稲作や畑作の実態や工夫を理解している。 ②厳しい自然環境を克服し、発展させていくための努力を多面的・多角的に考察している。	○	○	ノート ワークシート		

学期	月	時限	単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点			評価の見取り	キャリア教育 4つの視点		
1 学期	9 月	48	4 果樹栽培と水産業における人々の工夫や努力 ◎東北地方で盛んに行われている果樹栽培や水産業には、どのような工夫や努力がみられるのだろうか。	果樹栽培や漁業の発展がもたらした地域の人々の生活の変化について考える。	東日本大震災による漁業への被害や復興についても着目させる。	①さまざまな資料から、果樹栽培や漁業と人々の生活とのかかわりについて適切に読み取り、④東北地方での果樹栽培や漁業の特色について理解している。 ②果樹栽培や漁業の発展がもたらした地域の人々の生活の変化について多面的・多角的に考察している。			○	ノート ワークシート			
		49	5 工業の発展と人々の生活の変化 ◎東北地方の工業は、交通網の整備や人々の生活の変化とともに、どのように発展してきたのだろうか。 *学習を振り返ろう 東北地方	工業の発達もたらした人々の生活の変化について考える。	震災による原子力発電所の事故をきっかけにして原子力発電にかわる新しいエネルギー源として再生可能エネルギーを活用する動きが活発化していることに気付かせる。	①さまざまな資料を関連付けて、交通網の発達と工業の発達との関連を適切に読み取り、工業の発展がもたらした人々の生活の変化について理解している。 ②工業の発展が東北地方の人々の生活をどのように変化させたかを多面的・多角的に考察している。			○	ノート ワークシート	意思決定能力		
		50	1 北海道地方の自然環境 ◎北海道では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	北海道地方を概観し、自然や人々の生活の特色を理解する。	厳しい北海道の自然環境に合うように考えられたさまざまな工夫に着目させる。	①地図や雨温図から北海道地方の地形や気候の特色を適切に読み取り、北海道地方の地形や気候の特色を理解している。 ②自然環境に注目した視点から北海道地方の自然環境の特色を多面的・多角的に考察している。			○	ノート ワークシート	情報活用能力		
		51	2 雪と共にある北海道の人々の生活 ◎北海道の人々は、雪をどのように克服したり、利用したりしているのだろうか。	北海道の人々の雪と関わる取り組みや工夫を理解する。	雪による地域の人々の苦勞だけでなく、雪の恵みや雪に備える工夫など、地域の人々の努力に気付かせる。	①景観写真などから北海道地方の人々の雪との関わりを読み取り、雪に対する工夫や生かす試みなどについて理解している。 ②北海道地方における雪に対する課題の克服や雪の利用などについて多面的・多角的に考察している。			○	○	ノート ワークシート		
		52	3 厳しい自然環境を克服してきた稲作 ◎温暖な気候の下で行われる米作りが、寒冷な北海道で盛んに行われているのはなぜだろうか。	厳しい寒さや農業に適さない土地という悪条件を乗り越えてきた稲作の歴史を考える。	厳しい自然条件を乗り越えてきた人々の努力に着目させる。	①さまざまな資料から、開拓によって農地を拡大してきた実態を読み取り、泥炭地の土地改良や稲の品種改良について理解している。 ②石狩平野が全国有数の米の生産地になった理由を、開拓の歴史に着目しながら多面的・多角的に考察している。			○	○	ノート ワークシート		
		53	4 自然の恵みを生かす畑作や酪農、漁業 ◎北海道で、畑作や酪農、漁業が盛んになったのはなぜだろうか。	大規模に展開する北海道の畑作や酪農、漁業の特色を考える。	厳しい自然条件に対して適切に対応してきた地域の人々の努力に着目させる。	①さまざまな資料から、北海道の畑作や酪農、漁業が大規模であることを読み取り、北海道の畑作や酪農、漁業の特色を理解している。 ②畑作や酪農、漁業の規模が大きく変化した理由を、厳しい自然環境との関わりに着目しながら多面的・多角的に考察している。			○	○	ノート ワークシート	意思決定能力	
		54	5 北国の自然を生かした観光業 ◎北海道では、観光業をどのように発展させてきたのだろうか。 *学習を振り返ろう 北海道地方	北海道の豊かで特色ある自然環境を生かして発達した観光業の特色を考える。	自然環境の保全と観光業の発達の両立を目指したエコツーリズムの在り方について具体的に考えさせる。	①さまざまな資料から、北海道における観光業の発展と観光客の増加を読み取り、北国の自然を生かした観光業の特色を理解している。 ②観光客の増加に伴う自然破壊の対策とエコツーリズムについて多面的・多角的に考察している。							
		55	第7回単元テスト 「東北地方」 第8回単元テスト 「北海道地方」		診断評価					○	○	テスト	
2 学期	10 月	第4章 身近な地域の調査											
		56 57	1 調査テーマを決めよう ◎調査テーマは、どのように決めるとい のだろうか。	地域に対する疑問を整理して、調査するテーマを設定し仮説を立てる。	日頃から感じている疑問や写真や資料を見て抱いた疑問を、日本の諸地域で学んだ五つの視点で整理・分類させる。	①地図や景観写真、統計資料などを活用し、対象地域に関する疑問をとらえ、対象地域を調べる視点や調査テーマを決める手順を理解している。 ②対象地域に関する疑問や調査するテーマを多面的・多角的に考察している。			○	○	○	ノート ワークシート	将来設計能力 意思決定能力
		58 59	2 調査方法を考えよう ◎調査テーマを追究するためには、どのようなことを、どのように調べればよいのだろうか。	調査を進めるための調査項目や調査方法を考え、野外調査の準備をする。	教室内でできる調査方法と野外調査を組み合わせた計画的な準備を進めさせる。	①調査テーマに対する予想が正しいかどうかを確かめる調査方法に活用できる適切な地図や景観写真、統計資料を収集し、調査テーマに対する予想が正しいかどうかを確かめる調査項目や調査方法について理解している。 ②調査テーマに対する予想やその予想が正しいかどうかを確かめる調査項目や調査方法を多面的・多角的に考察している。			○	○	○	ノート ワークシート	情報活用能力
		60 61	3 野外調査を実行しよう ◎野外観察や聞き取り調査は、どのように行うとよいのだろうか。	野外調査と聞き取り調査を実施する。	調査ノートを作成し、ルートマップや聞き取り調査の結果、景観のスケッチなどを記録させる。	①調査した結果を適切に記録・活用し、聞き取り調査の方法を理解している。 ②より有効かつ効率的に野外調査が進むような工夫を多面的・多角的に考察している。			○	○	○	ノート ワークシート	人間関係形成能力 情報活用能力
		62 63	4 調査を深めて結果を発表しよう ◎調査を深め、分析するには、どのような方法があるのだろうか。また、調査結果はどのようにまとめ、発表すればよいのだろうか。	調査した結果をまとめたり、資料を関連させたりして野外調査でわからなかったことを確かめ、地域の特色や課題をとらえる。	調査のテーマや目的、調査方法、調査結果、結論などについて簡潔に記述させたり、視覚的にわかりやすくさせたりする。	①文献などの調査結果から、地域の姿容を適切に読み取り、調査のまとめから対象地域の特色や課題を理解している。 ①調査結果を適切にわかりやすくレポートなどにまとめ、よりよい調査結果のまとめ方を理解している。 ②文献資料などを活用して野外調査で見つかった発見や疑問を多面的・多角的に考察している。					○	○	ノート ワークシート

学期	月	時限	単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点	評価の見取り	キャリア教育 4つの視点	
	10月	64 65	5 調査結果をまとめて発表しよう ○意見を交換して調査結果をまとめよう ○調査結果を報告する発表会を開こう ○地域の課題や将来像を考えよう	調査結果から見いだした地域の課題についてグループで意見交換し、発表する。	さまざまな発表から得られたことをもとに、地域の良い点や課題を見出し、良さの伸長や課題解決に向けてできることを考えさせる。	(主)調査結果をまとめることで見えてきた地域の良さや課題に関心をもち、地域をより良いものにするための努力を積極的に考えまとめている。 (思)さまざまな発表から得られたことをもとに、地域の良い点や課題を見出し、良さの伸長や課題解決に向けてできることを多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 (知)①調査結果のまとめ方や発表の方法、調査で得られた身近な地域の特色などを理解し、その知識を身につけている。 ②調査結果を適切にわかりやすくレポートにまとめることができる。	○ ○ ○	ノート ワークシート レポート	人間関係形成能力 将来設計能力 意思決定能力	
			【歴史的分野】第4部 武家政権の展開と世界の動き							
		66	1 幕藩体制の始まり ◎江戸幕府は大名や朝廷を統制するために、どのようなしくみをつくったのか、どのようなしくみをつくったのだろうか。	江戸幕府は大名や朝廷を統制するために、どのようなしくみをつくったのか、文章や資料から読み取る。	・大名配置図から、幕府が親藩・譜代大名・外様大名をどのように配置したかを読み取らせ、そのねらいを考えさせる。 ・参勤交代は、藩から江戸まで移動するのにかかる人件費などだけでなく、江戸で生活するための費用の負担が重かったことにも気づかせる。	①江戸幕府が大名や朝廷を統制するために行ったおもな政策(武家諸法度や禁中並公家諸法度の制定、参勤交代制度の整備、御手伝普請、京都所司代の設置)を三つあげ、それぞれのねらいと効果にもふれながら、適切にまとめ、理解している。 ②幕藩体制とはどのような体制か、武家諸法度などに基づく将軍と大名の関係や幕府が藩に独自の統治を認めたことなどをふまえてさまざまな面から考察し、適切に表現している。		○	ノート ワークシート	
		67	2 朱印船貿易から貿易統制へ ◎江戸幕府は、盛んになっていた貿易やキリスト教の布教に、どのように対処していったのだろうか。	江戸幕府の外交・貿易政策は、国内政策との関係で、どのように変化したのか、年表などから読み取ったり考えたりする。	・ポルトガル船の来航を禁止できたのは、オランダによるアジアでの貿易が活発になり、ポルトガルにたよらなくても利益が上げられるようになったことが背景にあることも予想させられるとよい。	①キリスト教の禁止と貿易統制までの流れについて、教科書の年表や本文からおもなことがらを読み取り、流れ図などで適切にまとめ、理解している。 ②大きな利益が得られる朱印船貿易が停止された理由を、キリスト教の禁止の徹底などの面から考察し、適切に表現している。		○	ノート ワークシート	将来設計能力
		68	3 四つに絞られた貿易の窓口 ◎幕府は、貿易についてどのような政策をとり、どこを窓口としたのだろうか。	幕府は、四つの窓口を通して世界とどのようにつながっていたのか、地図でそれぞれの窓口を確認しながらまとめる。	・次時の学習と合わせて、「四つの窓口」の場所、貿易を行っていた藩、貿易の相手、おもな貿易品がまとめられるような表または図をつくらせる。	①貿易の四つの窓口を表や図でまとめ、オランダと清、朝鮮、蝦夷地への窓口の場所と貿易などの関係を理解している。 ②日本と貿易するヨーロッパの国がオランダだけとなった理由を、キリスト教の禁止の面から考察し、適切に表現している。 ③幕府が世界とつながる窓口を限定したことにはどのような利点があるかを考察し、利益や情報の独占という点に注目して、適切に表現している。	○ ○	ノート ワークシート		
2 学期	11月	69	4 琉球王国とアイヌの人々への支配 ◎琉球王国とアイヌの人々は、薩摩藩や松前藩とどのような関係にあったのだろうか。◇節の問いを振り返ろう◇江戸幕府が安定した全国支配ができた理由を、統治のしくみと関係させて説明してみよう。 歴史を探ろう 琉球とアイヌの人々の暮らし	琉球王国とアイヌの人々は、薩摩藩や松前藩とどのような関係にあったのか、絵画資料などから読み取り、江戸時代になってどのように変化したのかを説明する。◇江戸幕府が行った国内と国外の政策をそれぞれ確認させる。	・琉球とアイヌの人々の独自の文化に気づかせる。 ・昆布や蝦夷錦が伝わった経路などを確認させ、琉球とアイヌの人々が、東アジア一帯の交易ネットワークで大きな役割を担っていたことに気づかせる。 ◇外国や琉球とアイヌの人々とのような関係をもったのかに着目して考えさせる。	①琉球王国と薩摩藩、アイヌの人々と松前藩の交易品を、図を用いて適切にまとめ、理解している。 ②琉球王国とアイヌの人々の生活が、江戸時代になってどのように変化したのか、薩摩藩や松前藩との関係にふれながら考察し、適切に表現している。	○ ○	ノート ワークシート		
		70	第1回単元テスト 「武士による全国支配の完成」		診断評価		○ ○	テスト		
		71	1 身分制の下での暮らし ◎江戸時代の身分制とは、どのようなしくみなのだろうか。	江戸時代の人々は、身分制社会の下でどのような暮らしをしていたのか、文章や資料などから読み取ってまとめる。	・身分上の差別は非合理的なものであり、支配者に都合よく利用されたものであることに気づかせる。また、身分間の違いだけでなく、同じ身分の中にも大きな格差があったことにも気づかせる。 ・朱子学の考え方のもとで、男尊女卑の風潮が社会に根づいていったことに気づかせる。	①武士、百姓、町人の暮らし、自治に携わった役職、権利などについて、表などで適切にまとめ、理解している。 ①朱子学とはどのような考えを基本とするもので、徳川綱吉がなぜこれを重視したのかを、綱吉がめざした政治(武力ではなく学問や礼節を重んじる文治政治)との関係から理解している。 ②江戸幕府の政治が文治政治へと転換した理由とその影響について、社会の変化に着目して考察し、適切に表現している。	○ ○	ノート ワークシート	情報活用能力	
		72	2 安定する社会と諸産業の発達 ◎江戸時代の国内産業は、どのように発達していったのだろうか。	江戸時代の国内産業は、どのように発達していったのか、絵画資料や地図などから読み取ってまとめる。	・身近な地域で行われた新田開発や代表的な特産物を取りあげ、関心を高めさせる。	①幕府・大名や農民が米の生産量を増やすために行ったこと(新田開発、効率のよい農具の使用や栄養価の高い肥料の使用など)を、適切に読み取り、理解している。 ②江戸時代に各地で特産物の生産がさかんになった理由について、貿易統制と関連づけて考察し、日用品の国産化の動きなどについて適切に表現している。	○	ノート ワークシート	意思決定能力	
		73	3 各地を結ぶ陸の道・海の道 ◎交通網の整備は、都市や産業の発達にどのような影響を与えたのだろうか。 歴史を探ろう 昆布ロードと北前船	交通網の整備は、都市や産業の発達にどのような影響を与えたのか、三都を中心とした都市の成長などをふまえながら考える。	・陸路の街道に橋がかけられていなかったことなどから、商品の輸送に陸上交通は不向きであること、船の輸送は海上だけでなく河川も使われていたことに気づかせる。 ・経済面で武士を圧倒する商人が現れた理由を考えさせる。	①江戸時代のおもな街道と航路の名称とルート、「三都」の名称とそれぞれの特色を理解している。 ②大阪が商業の中心として発達した理由を、交通網の整備や江戸との関係、諸藩の蔵屋敷がおかれたことなどにふれて考察し、適切に表現している。	○ ○	ノート ワークシート		

学期	月	時限	単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点	評価の見取り	キャリア教育 4つの視点	
2 学期	11月	74	4 上方で栄えた町人の元禄文化 ◎江戸時代前半にはどのような特色をもった文化が展開したのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ 社会が安定した結果、人々の生活や産業はどのように変化したが、説明する。	江戸時代前半にはどのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ◇産業の発達と都市の繁栄が与えた影響を確認させる。	・現代に続く年中行事が生まれた背景に気づかせるとともに、身近な地域で行われている年中行事の起源や行事の具体的な内容を調べさせる。 ◇文化の担い手に着目させる。	①江戸時代前半のころに庶民が親しんだ文化を二つ以上あげ、それぞれ表などで適切にまとめ、理解している。 ②上方の町人が文化の担い手になった理由を、商業の発達や都市の繁栄などの面から考察し、適切に表現している。				
		75	1 貨幣経済の広まり ◎徳川吉宗はどのような改革を行ったのだろうか。	徳川吉宗はどのような改革を行ったのか、また、貨幣を使う機会が増え、農村ではどのような変化があったのか、文章やグラフなどの資料から読み取ったり、考えたりする。	・商業や手工業の発達が、農民の生活をどのように変えたか、農民の収入や支出の品目など具体的な生活をイメージさせながら考えさせる。	①徳川吉宗が財政の立て直しのために行った政策を文章から読み取り、成果や課題についても表などで適切にまとめ、理解している。 ②農村において格差が生まれるなどの変化が見られるようになった理由を、商品作物の生産がさかんになったことをふまえて考察し、「商品作物」「貨幣」の語を用いて適切に表現している。				
		76	2 繰り返される要求と改革 ◎百姓の要求と財政難に対して、幕府はどのような対応を行ったのだろうか。	百姓の要求と財政難に対して、幕府はどのような対応を行ったのか、田沼意次と松平定信の政策のちがいに着目させて、表にまとめる。	・財政再建策を大きく二つに分けると、収入増と支出削減を進める方法があることに気づかせ、さまざまな政策はどちらにかかわりが深いかを考えながらまとめさせる。	①百姓一揆や打ちこわしがどのようなことを背景として起こり、何を要求した運動だったのかを理解している。 ②田沼意次と松平定信の政策の違いについて、田沼意次は商品の流通や生産活動から得られる利益を重視し、一方の松平定信は農村の立て直しを重視したことなどに着目して考察し、適切に表現している。				
	77	3 江戸の庶民が担った化政文化 ◎江戸時代後半には、どのような特色を持った文化が展開したのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ 江戸時代後期に行われた幕府の諸改革は、どのような結果であったか、社会の変化と関連づけてそれぞれ説明してみよう。	江戸時代後半には、どのような特色をもった文化が展開したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ◇幕府の改革はどのような内容だったか、確認させる。	・文化の中心が上方から江戸に移ったことに気づかせ、その理由を考えさせる。 ・庶民の教育がさかんになり、高い識字率を実現したことが、その後の近代産業が発展する原因の一つになったことに気づかせる。 ◇「質素や儉約」がわらい通りにいかなかったことに着目して考えさせる。	①小学校の学習をふまえて、国学や蘭学など、新しい学問の発達が社会に与えた影響について、表などで適切にまとめ、理解している。 ①幕末には文字を読める人の割合が高かった理由を、寺子屋などの普及をもとに理解している。 ②印刷技術が人々に与えた影響について、浮世絵の流行や地方にも文化が伝わったことなどに着目して考察し、適切に表現している。					
	78	第2回単元テスト 「天下泰平の世の中」 「社会の変化と幕府の対策」		診断評価			○ ○	テスト		
	第5部 近代国家の歩みと国際社会									
	79	1 市民革命の始まり ◎イギリスでの革命や、アメリカでの独立運動によって、政治のあり方はどのように変化したのだろうか。	イギリスでの革命や、アメリカの独立戦争によって成立した政治体制とはどのようなものか、資料などから読み取り、表にまとめる。	・「市民革命」「市民」とは、王などによって支配される側にいた人々のことを指すことを確認しておく。 ・「国王」「市民」「法」「主権者」「議会」などのキーワードを用いて、「近代化」の意味を説明できるようにさせる。 ・イギリスでのピューリタン革命やアメ	①イギリスとアメリカに成立した政治体制を、成立までの経緯をふまえて、表などで適切にまとめ、理解している。 ①君主政治と民主政治の違いを文章や図をもとに読み取り、立憲君主政の特色について理解している。 ②「近代化」とはどのような変化のことか、政治の面から考察し、「法」という言葉を用いて適切に表現している。		○	ノート ワークシート		
	80	2 人権思想からフランス革命へ ◎フランス革命によって、政治や社会はどのように変化したのだろうか。	フランス革命によって、社会はどのように変化したのか、啓蒙思想を示す資料や『人権宣言』などから読み取る。	・18世紀におけるフランス社会が、三つの身分で構成される社会であったこと、人口の9割以上をしめた第三身分(平民)は、免税特権のある第一身分(聖職者)、第二身分(貴族)を支えるための重税に苦しんでいたことを、風刺画も活用して確認しておく。	①『人権宣言』で主張されたことを確認したうえで、フランス革命前後の税の負担を表した風刺画を適切に読み取り、社会がどのように変化したのかを理解している。 ②フランス革命がその後のヨーロッパに与えた影響や、18世紀のフランスが当時の日本と同じような身分制社会であり、アメリカの独立からフランス革命に受け継がれた自由・平等の考え方が、明治以後の日本にも大きな影響を与えるようになったことについて考察し、適切に表現している。		○ ○	ノート ワークシート		
	81	3 産業革命と資本主義の成立 ◎産業革命によって、社会はどのように変化した、また、どのような考え方が生まれたのだろうか。	産業革命によって、社会はどのように変化した、またどのような考え方が生まれたのか、絵画資料などをもとに読み取る。	・産業革命によって生まれた工業中心の社会の良い面と課題の両面に気づかせる。 ・資本主義と社会主義の違いを表などでまとめて理解させておき、世界恐慌時や第二次世界大戦後の世界の動きを説明させるときに知識が活用できるようにする。	①産業革命のときに利用されるようになった蒸気機関によって、生産力や輸送能力が大きく向上し、人物の動きが活発となり、資本主義の成立や発展を支えていたことを理解している。 ②社会主義の考え方が生まれた理由について、資本主義社会における資本家と労働者の関係に着目して考察し、適切に表現している。		○	ノート ワークシート	人間関係形成 能力	
	82	4 欧米諸国の近代国家建設 ◎アメリカ・ドイツ・ロシアでは、それぞれどのように近代国家の建設を進めたのだろうか。	産業革命やフランス革命の影響を受けて、アメリカやドイツ、ロシアではどのような国づくりが行われたか、地図や絵画資料などをもとに読み取る。	・アメリカでは、領土の拡大とともに、東部と西部を結ぶ鉄道が発達し、工業がめざましく発展していったことに気づかせる。 ・明治維新のころ、ヨーロッパではドイツが統一され、立憲君主政のもとで工業化を進め、世界進出を目指すようになった一方、ロシアではまだ皇帝による専制政治のもとでの近代化が行われていたことに気づかせる。	①南北戦争期のアメリカ南部と北部の産業の特色の違いを表などにまとめ、お互いが争うようになった理由を読み取って適切に理解している。 ②アメリカ、ドイツ、ロシアで近代国家が建設されるなかで、それぞれどのような課題が残されたか、人種差別や政治の体制などに着目して考察し、適切に表現している。		○ ○	ノート ワークシート		

学期	月	時限	単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点	評価の見取り	キャリア教育 4つの視点	
2 学期	1月	83	5 世界進出を目指す欧米諸国 ◎欧米諸国は、なぜ世界各地に植民地を広げていったのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ 各地域で「近代化」はどのように展開したのか、イギリス・フランス・アメリカのそれぞれの地域ごとに説明してみよう。	欧米諸国は、どのようにして世界へ進出したかったのか、イギリスとインドなどの関係を事例として、地図や資料から読み取ったり考えたりする。 ◇市民革命と産業革命による社会の変化、市場や植民地を求めての世界進出に着目して考えさせる。	・地図をもとにして、イギリスがアジア進出を進めるうえで、インドを拠点としていたこと、南下政策をとるロシアとの争いが激しくなっていくこと、日本は両者の勢力がぶつかり合う位置にあったことに気づかせる。	①工業化を進める欧米諸国が世界各地へ進出した理由と、イギリスが「世界の工場」とよばれ、ほかのヨーロッパ諸国と比べて優位にたつた理由を理解している。 ②欧米諸国がつくった経済のしくみや植民地支配が、アジア・アフリカに与えた影響について考察し、当時だけでなく現在まで続く問題にもつながっていることを適切に表現している。				
		84	1 日本を取り巻く世界情勢の変化 ◎「近代化」を進める欧米諸国の来航は、東アジアにどのような影響を与えたのだろうか。	世界情勢の変化は、江戸時代の日本にどのような影響を与えたのか、外国船の来航と幕府の対応、アヘン戦争とその影響などを法令や地図などの資料をもとに考える。	・外国船が来航した背景について、前節で学んだことを復習しておく。 ・異国船打払令を批判した蘭学者を幕府が処罰していたことに気づかせる。 ・幕府の命による蝦夷地の調査や高杉晋作による奇兵隊の創設など、外国の侵略に備える動きが広がっていたことに気づかせる。	①植民地を求めてアジアやアフリカなどに進出する欧米諸国の動きが、やがて江戸時代の日本にも及び、幕府が許可しているオランダ以外の国々の船が日本の周辺に現われるようになって、引き続き外国船を追い払う方針を変えなかったことを理解している。 ①南京条約で決まったことがらとまとめて、小学校のときに学んだ、日本が開国してアメリカと結んだ条約との共通点に気づき、南京条約の意味を理解している。 ②異国船打払令から薪水給与令へと幕府の政策が変化した理由について、アヘン戦争の影響をふまえて考察し、適切に表現している。	○		ノート ワークシート	
		85	2 諸藩の改革と幕府の衰退 ◎飢きんや財政の悪化に対して、諸藩や幕府はどのような改革を行ったのだろうか。	飢きんや財政の悪化に対して、諸藩や幕府は、どのような改革を行ったのか、資料などから読み取り、表などにまとめる。	・当時、身近な地域を支配していた領主は、どのような政治改革を行ったのか、調べさせておき、簡単に説明させる。 ・新しい生産のしくみや専売制など、藩による財政立て直しの方法に着目させる。 ・諸藩の改革が、幕末の政治や明治期に日本で近代産業が発展する基盤になったことに気づかせる。	①大塩平八郎は幕府のどのような態度を批判したのか、幕府は大塩平八郎が起こした反乱になぜ大きな衝撃を受けたのかを文章から読み取って理解している。 ②藩や幕府の改革の内容をふまえ、改革に成功した藩の政策の共通点と幕府の政策が失敗した理由について考察し、適切に表現している。	○		ノート ワークシート	
		86	3 黒船来航の衝撃と開国 ◎ペリーらの来航は、日本にどのような影響を与えたのだろうか。	ペリーらの来航により、日本ではどのような変化が起こったのか、資料などから読み取り、経緯を流れ図にまとめる。	・幕府の威信(権威)が大きく揺らいだきっかけとして、天保の改革の失敗、開国の決定に際し、初めて諸大名や下級の幕臣などに意見を求めたこと、朝廷に報告したこと、大老の井伊直弼が暗殺されたことなどがあることに気づかせる。	①日本とアメリカとの間で結ばれた条約とその内容を表にまとめ、それぞれの課題についても理解している。 ②開国自主権と領事裁判権の意味と日本が抱えた問題点をふまえ、この時期に始まった外国との貿易が日本の経済や社会に与えた影響を考察し、適切に表現している。	○		ノート ワークシート	
		87	4 江戸幕府の滅亡 ◎江戸幕府はどのようにして倒れていったのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ 武士の政権である江戸幕府が倒れた理由について、社会の変化・諸藩の動き・対外関係の三つの面から説明してみよう。	武士による政治は、どのように終わりを迎えたのか、戊辰戦争にいたるまでの経緯を資料などから読み取り、流れ図や年表にまとめる。 ◇工場制手工業、諸藩の改革、アヘン戦争前後から開国にいたるまでの動きと幕府の権威の低下に着目して考えさせる。	・長州藩や薩摩藩の動きだけでなく、幕府が低下した権威や威信をどのようにして回復しようとしたのか、幕府の「近代化」政策とは何かという点にも着目させる。	①倒幕を進めた勢力と、その中心となった人物について、流れ図や年表を用いて適切にまとめ、理解している。 ①長州藩と薩摩藩が攘夷から考えを変えた理由について、両者の藩が共通して経験したことなどをもとに理解している。 ②徳川慶喜が大政奉還をしたねらいに注目し、どのような動きによって幕府が倒れていったのかを考察して、適切に表現している。	○	○	ノート ワークシート	意思決定能力
		88	1 新政府による改革 ◎この時期には、どのような政治のしくみや社会の変化があったのだろうか。	明治維新とは、どのような改革・変化だったのか、新政府がどのような国家をめざしたのかを資料などを読み取りながら考える。	・廃藩置県によって、藩の名称がそのまま県の名称になったところ、それが認められなかったところがあることに気づかせる。 ・近代化を目指す動きと古代の時代の特色との共通点(天皇中心の国づくり)に気づかせる。	①版籍奉還と廃藩置県の内容とそのねらい、廃藩置県を行うことでなぜ中央集権国家とよべるようになるのかを理解している。 ②新政府はなぜ廃藩置県や古い身分制度の廃止を必要としたのか、江戸時代の幕藩体制との違いに着目して考察し、「欧米諸国」「中央集権」などの語を用いて適切に表現している。	○	○	ノート ワークシート	
		89	2 富国強兵を目指して ◎日本を欧米諸国に劣らない強い国にするため、どのような政策が行われたのだろうか。	日本を欧米諸国に劣らない強い国にするために、どのような政策が行われたのか、新政府が行った殖産興業政策、兵制・税制の改革を中心に資料などから読み取る。	・それぞれ基本的な絵画資料や統計資料、さらに地券については実物資料や写真を見せて、具体的に理解できるようにする。 ・徴兵令に反対する人々や地租改正後にも負担が変わらず不満が残った農民がいたことなど、改革は順調に進んでいったわけではないことに気づかせる。	①「富国」のために行われた政策(殖産興業、地租改正、学制)と、「強兵」(殖産興業、徴兵令、学制)のために行われた政策を表に整理するなど適切にまとめ、理解している。 ②富国強兵の政策(殖産興業、徴兵令、地租改正、学制)の中から一つ選び、その政策が社会に与えた影響について具体的な資料などにもとづいて考察し、適切に表現している。	○	○	ノート ワークシート	意思決定能力 情報活用能力

学期	月	時限	単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点		評価の見取り	キャリア教育 4つの視点	
2 学期	2月	90	3 文明開化と新政府の政策 ◎新政府が進めた新しい政策や欧米の文化を、人々はどのように受け止めたのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ 日本の「近代国家」の建設に向けて、明治政府はどのような政策を行ったのか、欧米の近代化の推移を踏まえて説明してみよう。 歴史を探ろう 世界に開かれた港 横浜	新しい政策や欧米の文化は、人々の生活にどのような影響を与えたのか、絵画資料などから読み取ったり考えたりする。 ◇「富国強兵」をスローガンとして実施された諸政策の意味や意義に着目して考えさせる。	・絵画資料をもとにして、文明開化によって人々の生活がどのように変化したか、具体的に考えさせる。 ・都市と農村を比べると、農村では文明開化の文化や生活スタイルがすぐには変化しなかった理由があることに気づかせる。	①日本に取り入れられた欧米の文化や生活様式を、絵画資料や文章をもとに具体的に理解している。 ②政府の新しい政策のうち、学制、徴兵令、地租改正について、国民から強い抵抗があった理由を考察し、適切に表現している。	○	○	ノート ワークシート	意思決定能力 情報活用能力	
		91	学年末テスト:2月5日(予定)		診断評価			○	○		
		92	テスト解答	学習の振り返り 誤答レポート作成	定着の不十分な課題を補足する	(主)誤答レポートをまとめることができる。	○			誤答レポート	意思決定能力
		93	1 新たな外交と国境の画定 ◎新政府はどのような外交政策を進めていったのだろうか。	新政府は、どのような外交政策を進めたのか、欧米諸国とアジアに対する方針の違いにも着目しながら、地図や資料などから読み取ったり考えたりする。	・欧米諸国、中国、朝鮮、ロシアとの関係性にそれぞれどのような違いがあるかに注目させ、それがなぜかを考えさせる。 ・西郷隆盛と大久保利通の考え方の違いに気づかせる。	①新政府が1870年代に結んだ条約とその内容について、表などにまとめて整理し、新政府が国境を画定していた理由を近代国家の特徴をふまえて理解している。 ①日本地図の上に明治時代の国境を書き入れて、現在の国境とどこが違うのかを適切に示している。 ②新政府が中国・朝鮮と結んだ条約の違いについて、欧米諸国と日本の関係との共通点にふれながら考察し、「領事裁判権」という語を用いて適切に表現している。	○	○	ノート ワークシート		
		94	2 沖縄・北海道と「近代化」の波 ◎新政府は沖縄や北海道に対してどのような政策を進めていったのだろうか。 歴史を探ろう 移住と開拓が進む北海道	新政府は沖縄や北海道に対してどのような政策を進めていったのか、地図や資料などから読み取ったり考えたりする。	・琉球が日本領に組み入れられる経緯の中に、新政府による台湾や琉球への軍事的な圧力があつたことに気づかせる。 ・沖縄やアイヌの人々の立場から、新政府の政策の問題点を指摘させる。	①新政府が北海道の本格的な統治と開拓を進めた理由を、具体的な政策の内容とともに理解している。 ②新政府が行った政策によって、琉球とアイヌの人々の生活がどのように変化したかを考察し、「日本国民」などの語を用いて適切に表現している。	○	○	ノート ワークシート	人間関係形成能力 意思決定能力	
		95	3 自由と民権を求めて ◎新政府の政策を批判していた人々は、どのような活動を行ったのだろうか。	人々は意見を政治に反映させるために、どのような活動を展開したのか、地図や地域史の資料などから読み取る。	・植木枝盛や中江兆民によるフランスの人権思想の紹介が、自由民権運動に大きな影響を与えていたことに気づかせる。 ・政府と自由民権運動の対立の結果、国会開設や憲法制定が約束された経緯に気づかせる。	①自由民権運動で要求されたことを読み取り、自由と民権を獲得するためには、どのような準備が必要であつたか(国会開設、政党の活動を理解している。 ①板垣退助など自由民権運動の活動家たちが、国会開設の過程においてそれぞれどのような行動をとつたのかを読み取り、理解している。 ②藩閥政府と自由民権運動の目標が共通していた(立憲政治を行うこと)にもかかわらず、対立する関係になった理由(政府は急進的な国会開設を望まなかった)を考察し、適切に表現している。	○		ノート ワークシート	人間関係形成能力 意思決定能力	
		96	4 帝国憲法の成果と課題 ◎大日本帝国憲法はどのような特色があり、その下でどのような国のしくみが作られたのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ なぜ明治政府は、国境を画定し、憲法を作つたのか、欧米の近代国家の建設の過程も踏まえて説明してみよう。	大日本帝国憲法や帝国議会にはどのような特色があるのか、条文を読んだり選挙のようすを調べたりしながら、その特色を考える。 ◇不平等条約の改正を欧米諸国に認めさせるという目標を明治政府がもっていたことをふまえて、近代国家を成立させるためのさまざまな条件に着目して考えさせる。	・主権者教育の観点から、詳細な知識は求めないものの、大日本帝国憲法や帝国議会、選挙が現在の憲法や国会、選挙とどのような点で違っているかにも着目させる。	①大日本帝国憲法における天皇・国民についてのあり方を、条文などから適切に読み取り、理解している。 ①帝国議会や選挙のしくみの主な点(主権が天皇にあること、男性の一部にしか選挙権がなかったことなど)について、現在の違いを理解している。 ②大日本帝国憲法の制定によって、国民にどのような成果と課題(さまざまな自由が認められ、国民の政治参加も可能になったが、制限があつたこと)があつたかを考察し、具体的な内容をふまえて適切に表現している。	○	○	ノート ワークシート		
		97	1 アジアの列強を目指して ◎明治政府は条約改正に向けて、どのような取り組みを行ったのだろうか。	帝国主義とはどのような動きや考え方が、長年の条約改正への努力のねらいとは何か、なぜ条約改正の一部が実現したのかについて、当時の国際関係などをふまえながら、地図や資料から読み取る。	・地図や風刺絵を活用して、イギリスが日本とどのような関係を結ぼうとしたかに気づかせる。 ・欧米諸国との対等な関係を求めるための政策の中には、国民からの批判を受けるようなものもあつたことに気づかせる。	①帝国主義とはどのような動きや考え方を文章から読み取り、理解している。 ②領事裁判権の撤廃に成功した理由について、明治政府の国内での取り組みと世界情勢をふまえて考察し、条約改正に向けての外交努力や世論の高まり、ロシアの南下を警戒するイギリスとの関係をもとにして、適切に表現している。	○		ノート ワークシート	情報活用能力	
		98	2 朝鮮をめぐる対立 日清戦争 ◎日本と中国との間でどのような対立があり、その結果はどのようなものになったのだろうか。	日本と中国との間でどのような対立があり、戦争の結果、日本と中国はそれぞれどのようなものになったのか、風刺絵の資料や地図などを活用しながら流れ図でまとめる。	・地図をもとに日清戦争の主な戦いは朝鮮半島と遼東半島で起こっていたこと、戦争後、欧米列強が清に進出していったことに気づかせる。 ・三国干渉が、日露戦争が起こる背景の一つになっていたことに気づかせる。	①日清戦争開始のきっかけとなつたできごと、戦争の結果(下関条約の内容)や三国干渉後の朝鮮の状況までを、流れ図を用いて適切にまとめ、理解している。 ②日清戦争によって、日本・中国・朝鮮のアジアでの立場がどのように変わったのかをさまざまな面から考察し、欧米列強との関係もふまえて適切に表現している。	○	○	ノート ワークシート		

学期	月	時限	単元	学習内容	指導目標	評価規準 おおむね満足(B)	評価の観点	評価の見取り	キャリア教育 4つの視点
2 学期	3月	99	3 世界が注目した日露戦争 ◎日本とロシアとの間でどのような対立があり、その結果はどのような対立が、その結果はどのような対立になったのだろうか。	日本とロシアとの間でどのような対立があり、その結果はどのような対立が、風刺絵の資料や地図などを活用しながら関係図でまとめる。	・戦争の背景や経過、結果をまとめるときに、日本とロシアだけでなく、イギリスやアメリカ、清や韓国との関係もふくめて考えやすくなるため、関係図で示す方法が有効的であることを示す。 ・日露戦争後に日本が関税自主権を完全に回復し、条約改正がすべて達成されたことの意味を考えさせる。	①日本とロシアが対立した背景について、「満州」(中国東北部)やイギリスもふくめた関係図を用いて、適切にまとめ、理解している。 ①ポーツマス条約で決まったことにより、日比谷焼き打ち事件などの暴動が起こった理由(賠償金が得られなかったこと)を理解している。 ②日露戦争によって、日本と外国との関係がどのように変わったのかをさまざまな面から考察し、アメリカとロシア、韓国との関係について適切に表現している。	○ ○	ノート ワークシート	
		100	4 塗り替えられたアジアの地図 ◎日清・日露戦争の後、朝鮮・中国ではどのような変化が見られたのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ 日清・日露戦争前後の日本の、中国・朝鮮との関わりの推移をまとめ、日本のアジアでの立場はどのように変化したが説明してみよう。	日清・日露戦争後のアジアの人々の意識の変化、韓国や満洲における日本の政策、中華民国の成立の経緯について、資料などから読み取る。 ◇条約の具体的な内容やアジアの人々からの視点に着目させて、日本の立場の変化を考えさせる。	・韓国をはじめとしたアジアの人々が日本に対してどのような感情を抱くようになったかについて、資料を読ませて自由に予想を述べさせる。 ・地図帳で長春、旅順、大連、武漢、南京などの都市の位置を地図帳で確認させる。	①日本と韓国の関係の変化について、日露戦争後から韓国併合とその後の日本の植民地政策までを整理し、流れ図などを用いて適切にまとめ、理解している。 ①日露戦争後に中国で起こった辛亥革命によって皇帝による政治が終わったことや、アジア初の共和国である中華民国が成立したことを文章から読み取り、理解している。 ②日本でのアジアでの立場が日清・日露戦争後にどのように変わったのかをさまざまな面から考察し、アジア諸国の立場から考えられること(日本が帝国主義国としての動きを活発にしたこと)にもふれて、適切に表現している。	○	ノート ワークシート	情報活用能力
		101	第5回単元テスト 「明治政府による近代化の始まり」 「近代国家への歩み」		診断評価		○ ○	テスト	
		102	第6章 アジアの強国の光と影 1 近代日本を支えた糸と鉄 ○日本の軽工業の発展 ○日本の重工業の発展 ○財閥の登場	日本の軽工業や重工業はどのように発展していったのか、地図や資料などから読み取る。	・『明治時代の産業と鉄道』や『鉄道と生糸の輸出』の地図を見せて、現在と鉄道開通当時における鉄道のおもな役割の違い(貨物輸送がさかんだったこと)に気づかせる。	(思)重工業が発達したことによって、日本国内で起こった変化について考察し、軍需産業や鉄道などの発達にふれながら、適切に表現している。 (知)近代日本の工業化について、軽工業と重工業に分け、それぞれの工業製品の違いを示しながら、表などで適切にまとめている。	○ ○	ノート ワークシート	情報活用能力
		103	2 変わる都市と農村 ○列強への仲間入り ○農村の生活の変化 ○社会問題の発生	工業化が進むなかで、農村や都市での人々の生活はどのように変化したのか、資料などから読み取り、その理由を考える。	・『女子工員の一日』のグラフを見せて、日本の工業化における製糸業の役割と労働問題を考えさせる。 ・足尾銅山の鉱毒事件を例に、環境問題が起こったことにもふれておく。	(思)農村で小作人になる農民が増えた理由や、海外に移住する人々が増えた理由について、当時の社会的な背景をもとに考察し、適切に表現している。 (知)社会問題のうち、労働者に関する問題や、社会主義の運動が始まったことを理解し、その知識を身につけている。	○ ○	ノート ワークシート	将来設計能力
		104	3 欧米の影響を受けた近代文化 ○急速に発展する学問と技術 ○伝統文化と欧米文化 ○近代化と学校教育 ◎明治時代をふりかえって	明治時代になって、人々の生活や文化はどのように変化したのか、文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。	・p.130の東洲齋写楽の役者絵や葛飾北斎の風景画と、p.188の黒田清輝の西洋画や狩野芳崖の新しい日本画を比べさせ、絵画の世界でも欧米文化が受け入れられていったことに気づかせる。	(知)①明治時代の特色を、政治や社会、産業、文化を通して理解し、その知識を身につけている。 ②日清戦争以降、日本の伝統文化について、どのような動きがあったかを調べ、絵画や音楽、文学の世界での変化を適切にまとめている。 (技)「国民」を形成するために学校で行われた取り組みについて、そのねらいをふくめて三つ挙げて、適切にまとめている。	○	ノート ワークシート	
		105	学習をふりかえろう ○近代前半の特色を説明しよう	絵画にえがかれた政治体制の変化に着目して、近代前半の特色を考える。 近代前半とはどのような時代か、自分の言葉で表現したり、意見交換を行ったりする。	・近世における政治や社会、産業、文化との違いに着目して、近代前半の特色を表現することができるように助言する。	(思)近世から近代にかけて、政治体制がどのように変化したかを絵画資料から読み取りながら、政治面から近代前半という時代を大観し、適切に表現することができる。 (主)近代前半で活躍したと思う人物を何人か選び、選んだ理由とともに班で意見交換を行う学習活動に主体的に取り組んでいる。	○ ○	ノート ワークシート	人間関係形成 能力 意思決定能力